

# 花と笑顔いっぱいのもち入



(上)宮川小学校で花の苗植え、(下)加茂の畑に約20万本のひまわり

## 菜の花、ひまわり、コスモス 「花の里みやがわ」への取り組み

生活環境整備委員会が地区の農業者で作る(有)ファームみやがわと連携して、休耕田にひまわりやコスモスなどの種をまき、花の名所を整備。同じ田んぼで育てた「ひまわり米」の販売などを通じて、「コミュニティビジネス」への発展も目指しています。ほかに、小学校の通学路に花のプランターを設置する「花いっぱい運動」など環境整備が進められています。



山本 篤子<sup>あつこ</sup>さん(58歳・大戸)



日々のウォーキングで健康推進

豊かな田畑が広がる宮川地区。地区の生活環境整備委員会を中心に、景観や健康、農業などの多様な切り口で、「住んでよいむら」づくりが進められています。

## 「元気で長生きのもち入宮川」を目指して

生活環境整備委員会と公民館が中心となって、日常的な健康づくりを推進。「自分の健康は自分で作る」をテーマに、杉田玄白が記した健康のすすめ「養生七訓」の地区全戸配布や、地区民によるウォーキングクラブの発足、健康講座の開催など、多様な事業を実施し、みんなが健康づくりに取り組んでいます。

宮川地区生活環境整備委員会副委員長。通学路花いっぱい運動など、地域の環境向上を目指して活動中

コンクリートの道を花がある環境にと思い、「花いっぱい運動」を始めました。子どもからお年寄りまで大勢の人に参加していただき、人と人とのつながりが生まれています。人柄が温かく、地域の絆が残っている宮川を、住みよい場所にしたいです。

## NEWS

### 市民活動パネル展を開催！



市では、10月8日(日)にはまかせ通り商店街で開催された「やさしさいっぱいまちなか夢通り」で、12地区の活動紹介などをパネル展示し、協働のまちづくりをPRしました。



育ったイモを小学生が毎年収穫

地域で定着。鳥獣害対策研修会も開催するなど、地域の課題解決に向けた取り組みが進められています。

## 市民協働で竹マルチ設置 鳥獣害対策の取り組み

昨年度に市の「みんなで減らそう鳥獣害モデル事業」の一環で、新保稲作生産組合が市農林水産課と連携して始めた、畑への竹マルチ設置による鳥獣害対策が